

福岡市立こども病院
地域医療連携室ニュースレター

『子どもたちを新型コロナウイルス感染から守るために』

小児感染免疫科科長 水野 由美

2019年12月中国の武漢から始まった新型コロナウイルス感染症が、2月に入り、中国の春節が始まると発熱などで旅行者が受診されるのではないかと、日本語とともに中国語、英語での注意書きを掲示しました。

新型コロナウイルス感染症には以下のように院内での対応の上で多くの困難があります。

①病初期の症状は、発熱、鼻汁、咳、頭痛、倦怠感でいわゆる風邪と区別がつかない。②症状が出る2,3日前から周りの人に感染させる。③感染していても(ウイルスを持っていても)症状が出ないことがある。④感染経路が飛沫感染のみならず、接触感染やエアロゾル感染がおこることがある。基礎疾患がある人や高齢者は肺炎を合併し、死亡率が高い。⑤診断のためにはPCR検査、抗原検査が必要である。(抗原検査では発病2-9日の有症状者ならば1時間程度で結果が出る)⑥確実な治療薬がなく、予防のためのワクチンがない。

院内での感染を防ぐために、現在は次のような対応を行っています。

外来では①入り口でのチェック:サーモグラフィ、来院者全員の問診(問診票でご本人及びご家族の発熱、咳、鼻汁などの症状の有無、新型コロナウイルス感染症者との接触、流行地への渡航等)。

→当てはまる方は別の場所で受付などの手続き、診察。

紹介患者で症状により、感染症入り口から入室。

来院前に発熱がある時は来院前に連絡をいただく。

②病院内ではマスク着用・手指消毒をお願いしている。

③受付での体温測定(すべての患者様)

④外来受診時の患者様への付き添いの制限

⑤待合室では椅子の間隔を開けての配置。

⑥慢性疾患で定期受診患者さんへ『電話診療で処方箋を発行できる体制』

⑦入院患者さんへの面会制限

入院では①感染症の病棟は全室個室で、区画を区別。

②医療者は標準予防策を徹底し、症状によって接触予防策、飛沫予防策、エアロゾル感染予防策をおこなう。

③検査や手術で予定入院される患者さんの新型コロナウイルスPCR検査または抗原検査。

④職員の啓発のため、コロナウイルスに関する講義。

種々の対応を行っても元気で全く症状がない人が感染源になることがありますので、常に、「自分がもし、今新型コロナウイルスに罹患していても他の人に感染させないように行動する」を基本に、濃厚接触者にならないように、マスクをつけること、手指衛生の徹底、3密を避けること、日常の健康管理を行っています。

学校が休校だったため、福岡市では10歳以下の新型コロナウイルス患者は10人と成人に比較して少なく、重症患者も出ていないようです。学校が始まり、北九州市では小学校での感染が報告されています。流行の状況によっては小児の患者数が増える可能性があります。

新型コロナウイルスにより、患者さんが受診を控え、診断や治療の遅れが起こる可能性があり、現実には、予防接種の接種控えがおこり、予防接種で防げる病気にかかってしまう危険があります。面会制限のため寂しい思いをした子どもさんもいます。直接、新型コロナウイルスに罹患しなくても何らかの不利益を受けている子どもたちがいます。

こども病院では職員が一丸となって、新型コロナウイルスの院内感染の防止をはじめとした、すべての子どもさんたちが、安全で安心して十分な診療を受けられるように努めています。With Coronaといわれるこの時期を地域の先生方とともに子どもたちのため、より良い医療をめざしてまいります。当院での診療方針を即時にホームページに掲載しておりますが、お気づきのことがございましたらご連絡ください。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

新任診療科長のご挨拶：胎児循環器科



漢 伸彦 (かのぶひこ)

2020年6月より胎児循環器科の診療科長に就任しました。当科は、胎児心疾患に特化した診療科です。妊婦健診にて胎児心異常が疑われた場合は、当科で専門的な胎児心エコー検査等であらゆる胎児心疾患(先天性心疾患、不整脈、心臓腫瘍など)の診断が可能です。1年間の胎児心疾患症例は約180例、うち半数は生後にNICU入院が必要な重症心疾患が占めており、各診療科、各施設と連携して「胎児診断から分娩、生後の治療まで」切れ目のない周産期医療を提供することで、重症心疾患の予後改善に大きく貢献しています。家族が胎児の心臓病が気になる場合も受診可能です。受診方法などは当院胎児循環器科HPをご参照ください。今後ともよろしくお願ひいたします。

☆診療体制のご紹介☆



○外来診療担当医表（令和2年7月）

添付の別紙をご参照ください。また、下記URLからもご覧いただけます。

<http://www.fcho.jp/childhp/uploads/article/files/2020年7月.pdf>

☆地域別紹介患者統計(2020年4~6月)☆

新型コロナウイルスの影響もあり、本年4月以降の当院の外来患者数は、前年の約25%減で推移しております。

そのような状況に関わらず、多くの患者さんをご紹介いただき、有り難く感謝申し上げます。今後とも、宜しく願いいたします。

地域医療連携室・副室長 加藤秀幸

地 区	4月	5月	6月	地 区	4月	5月	6月
福岡市医師会地区	364	290	444	糸島医師会地区	8	9	13
東区	158	141	206	粕屋医師会地区	75	67	117
博多区	34	23	36	宗像医師会地区	20	23	23
中央区	39	31	65	筑紫医師会地区	42	33	55
南区	24	18	33	その他福岡県内	31	30	37
城南区	16	15	11	九州（福岡県外）	77	52	108
早良区	55	33	50	その他（九州外）	36	21	36
西区	38	29	43	合計	653	525	833

☆カンファレンス・研修会のご案内☆

○第325回こども病院カンファレンス

2020年9月WEBカンファレンス開催予定（オンデマンド配信）。詳細が決定いたしましたらご案内いたします。WEB開催にあたり、メーリングリストへのご登録をぜひお願いいたします。

○第14回福岡市立こども病院胎児心エコーカンファレンス

WEB開催（オンデマンド配信） * 配信期間：2020年6月30日から7月31日まで

- 1) 胎児心エコー外来新患症例の紹介
- 2) 症例提示1「原因不明の心拡大」
- 3) 症例提示2「肺静脈の血流異常」
- 4) 「肺静脈血流をきれいにみるためには」

google formを利用したWebカンファレンスとして開催いたします。下記のリンク先より各自のPC・携帯電話を使用してぜひご参加ください。 <https://forms.gle/gECvJ6yCN5qjmAR8A>

医師・看護師などの医療従事者の方々を対象としております。参加費は無料で、事前予約も不要です。皆さまのご参加をお待ちしております。お問い合わせは、下記地域医療連携室までお願いいたします。

☆連携室からのご案内☆

- ・当日の診察・入院の依頼は医師間での連絡をお願いしております。地域医療連携室へご連絡ください。当日の担当医へ電話をお繋ぎいたします。



福岡市立こども病院 地域医療連携室 webサイトはこちら

診療情報提供書を緊急にFAXする場合は下記の番号をご利用下さい

- ・地域医療連携室（平日時間内の対応） FAX 092-692-3318
- ・救急事務室（時間外・土日の対応） FAX 092-692-3369

ご意見・お問い合わせは
地域医療連携室（担当：西岡、寺本）
までお願いいたします
TEL：092-692-3316
Mail：renkei.k@fcho.jp